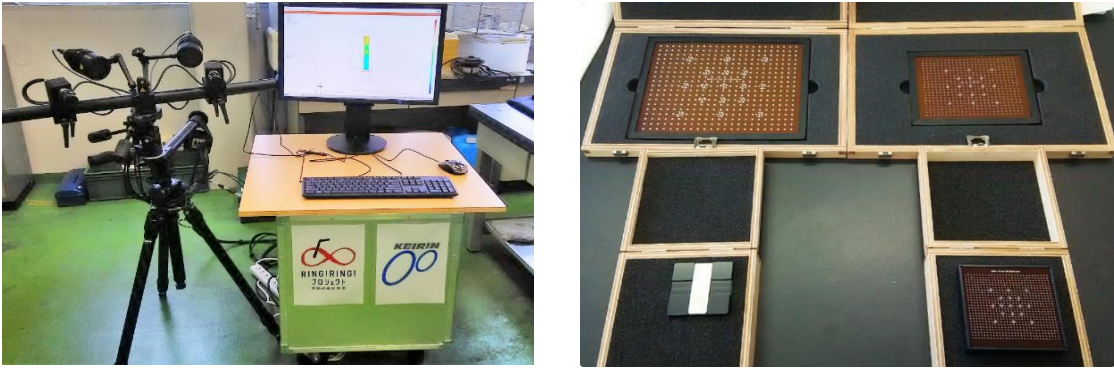


事業者名	和歌山県								
機器名	非接触三次元変位変形計測システム								
写真									
特徴・用途	当該機器は、計測物が変形したときの変形量やひずみ量の分布を非接触・三次元で計測でき、この計測結果とCAE(Computer Aided Engineering)解析結果とを比較することで、CAEの妥当性検証を可能とする機器である。								
設置場所	和歌山県工業技術センター								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
					件数(件)	時間(時間)			
	平成28年9月	9	0	1	0	0	3	5	9
	平成28年10月	4	0	1	0	0	0	3	4
	平成28年11月	6	0	0	0	0	1	5	6
	平成28年12月	3	0	0	0	0	2	1	3
	平成29年1月	15	0	0	0	0	0	15	15
	平成29年2月	8	0	0	0	0	0	8	8
	平成29年3月	5	0	0	0	0	0	5	5
	平成29年4月	1	1	0	0	0	0	0	1
	平成29年5月	1	1	0	0	0	0	0	1
	平成29年6月	3	0	3	0	0	0	0	3
	平成29年7月	6	0	0	0	0	4	2	6
	平成29年8月	4	0	0	0	0	0	4	4
	平成29年9月	9	0	5	0	0	0	4	9
	平成29年10月	11	3	3	0	0	5	0	11
	平成29年11月	0	0	0	0	0	0	0	0
	平成29年12月	3	2	0	0	0	0	1	3
	平成30年1月	0	0	0	0	0	0	0	0
	平成30年2月	2	0	2	0	0	0	0	2
平成30年3月	2	0	2	0	0	0	0	2	
利用者等の声	<ul style="list-style-type: none"> ●従来までの接触式のセンサでは困難であった材料の物性の取得を行うことができ、これを用いてCAEの材料モデルを作成することができた結果、CAEを活用して新たな製品の開発を行うことができた。 ●構造物に外力が作用したときの変位やひずみの分布の可視化が可能となり、この可視化結果とCAE解析結果との比較が可能となったことで、CAEの妥当性検証が容易にできるようになり、CAEの精度向上につながった。 								
補助事業概要 の広報資料	http://hoio.keirin-autorace.or.jp/shinsei/document/list/kikai/h28/pdf/28-052koho.pdf								